

史跡羽州街道櫓下宿金山越整備基本計画書

令和4年3月

上山市教育委員会

史跡羽州街道檜下宿金山越整備基本計画書



令和4年3月
上山市教育委員会

序

豊かな自然環境の中で先人たちが築きあげてきた貴重な歴史文化遺産が、本市には数多く現存しています。

檜下宿と金山越は、近世における羽州街道の様相を今に伝える貴重な地域として、平成9年9月11日に「羽州街道檜下宿金山越」として国の史跡に指定されました。

平成26年7月9日から10日にかけての記録的豪雨に伴い、金山では羽州街道沿いを流れる金山川が氾濫し、街道の侵食や法面崩落など史跡23か所で甚大な被害が生じたため、上山市教育委員会では、平成26年度と平成27年度の2か年にわたり災害復旧事業に取り組みました。

この発災を機に、金山では平成27年度に市民史跡保全活動が始動し、市民参加による定期的な保全活動を通して史跡の適正な保存や活用が図られています。

また、檜下宿では、宿場に残る歴史的建造物の茅葺き文化を地域で保存継承する取り組み「かみのやま草屋根プロジェクト」が平成28年度に始まりました。同プロジェクトでは、地域の耕作放棄地を茅場に再生し、再生茅場で収穫した茅で地元の茅葺きを維持管理する地域循環型サイクルの構築が住民主導で進められています。

上山市教育委員会では、史跡羽州街道檜下宿金山越を適切に保存管理するとともに次代に正しく伝承するため、平成30年度に策定した「史跡羽州街道檜下宿金山越保存活用計画書」に基づき、史跡の整備にかかる基本計画を本書に取りまとめました。

結びに、本計画の策定にあたり格別なるご指導を賜りました史跡羽州街道檜下宿金山越整備基本計画策定委員会の委員の皆様、文化庁、山形県、檜下宿をはじめとする関係機関の皆様に衷心より御礼申しあげますとともに、今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

令和4年3月

上山市教育委員会

教育長 横戸 隆

例 言

- 1 本書は、史跡「羽州街道うしゅうかいどう櫛下宿ならげしゆく金山越かなやまごえ（山形県上山市）」の整備基本計画書である。
- 2 本計画を策定するため、有識者や地域の代表者等で構成される「史跡羽州街道櫛下宿金山越整備基本計画策定委員会」を令和元年度・2年度の2か年にわたって設置し、上山市教育委員会生涯学習課が事務局を務めた。なお、各委員からは委員会での協議に加え、櫛下宿及び金山の現地で専門的見地から指導いただいた。
- 3 本計画の策定に当たっては、文化庁及び山形県から指導と助言を頂いた。
- 4 本書は、史跡羽州街道櫛下宿金山越整備基本計画策定委員会の指導のもと、事務局が執筆した。
- 5 本書に関する写真等は一括して上山市教育委員会が保管している。
- 6 史跡羽州街道櫛下宿金山越の読みは「しせきうしゅうかいどうならげしゆくかなやまごえ」で登録されている。地元での呼称は、櫛下宿は「ならげじゆく」、金山は「かねやま」（金山川・金山峠）である。なお『お国替絵巻』（山田音羽子 1846）の挿絵には「かなやま」と記載されている。



羽州街道櫛下宿



羽州街道金山越

目次

第1章 計画策定の経緯と目的

第1節 計画策定の経緯・・・・・・・・・・	1
1-1-1 整備基本計画の策定経緯	
1-1-2 保存活用計画の策定	
第2節 計画の目的と位置づけ・・・・・・・・	3
1-2-1 計画の目的	
第3節 委員会の設置・経緯・・・・・・・・・・	3
1-3-1 委員会の設置	
1-3-2 委員会の経緯	
第4節 山形県及び上山市の各計画と 本計画との関連・・・・・・・・・・	7
1-4-1 山形県の計画	
1-4-2 上山市の計画	

第2章 史跡の現状

第1節 位置と自然的環境・・・・・・・・・・	11
2-1-1 位置	
2-1-2 自然的環境	
第2節 歴史的環境・・・・・・・・・・	18
2-2-1 地域の沿革	
2-2-2 周辺地域における関連文化財	
第3節 社会的環境・・・・・・・・・・	21
2-3-1 概況	
2-3-2 観光	
2-3-3 土地利用状況	
2-3-4 指定地の状況	
2-3-5 住民の要望	

第3章 史跡の概要及び現状と課題

第1節 指定状況・・・・・・・・・・	28
3-1-1 指定告示	
3-1-2 指定説明文とその範囲	
第2節 概要・・・・・・・・・・	32
3-2-1 本質的価値とその構成要素	
3-2-2 本質的価値を構成する諸要素以外の 諸要素	
3-2-3 史跡の周辺地域を構成する諸要素	

3-2-4 史跡にまつわる文化遺産

3-2-5 現状と課題

第3節 公開活用のための諸条件・・・・・・・・ 37

3-3-1 現状における公開・活用状況

3-3-2 地域の公開・活用に対する要望

3-3-3 行政施策の諸条件と課題

第4節 広域関連整備計画・・・・・・・・・・ 41

3-4-1 地域に所在する文化的資源との関連

3-4-2 課題

第4章 基本方針

第1節 基本理念・・・・・・・・・・ 43

4-1-1 基本理念

第2節 基本方針・・・・・・・・・・ 44

4-2-1 保存管理の基本方針

4-2-2 活用の基本方針

4-2-3 整備の基本方針

4-2-4 運営体制の基本方針

第5章 整備基本計画

第1節 全体計画及び地区区分計画・・・・・・・・ 47

5-1-1 地区区分と概要

5-1-2 地区毎の整備方針

第2節 遺構保存に関する計画・・・・・・・・ 50

5-2-1 地形

5-2-2 地下遺構・遺物

第3節 歴史的建造物・石造物等に関する計画

・・・・・・・・ 56

5-3-1 歴史的建造物・石造物等

5-3-2 各地区の現状

第4節 動線計画・・・・・・・・・・ 64

5-4-1 全体計画

5-4-2 史跡へのアクセス

5-4-3 関連道路

5-4-4 主要動線

5-4-5 史跡管理用道路

第5節 地形造成に関する計画・・・・・・・・ 75

5-5-1	全体計画	引用・参考文献・・・・・・・・・・	129
5-5-2	排水計画		
第6節	修景および植栽に関する計画・・・		78
5-6-1	全体計画		
5-6-2	危険木の処置		
5-6-3	眺望景観の確保		
5-6-4	倒木への対応		
第7節	案内・解説施設に関する計画・・・		92
5-7-1	史跡標識・境界標		
5-7-2	案内板・説明板・道標（誘導表示）		
5-7-3	表示物の更新及び情報の発信		
5-7-4	模型の設置		
第8節	管理施設及び便益施設に関する計画		
	・・・・・・・・		102
5-8-1	便益施設・休憩施設（トイレ・ベンチ・駐車場・バイクスタンド）		
第9節	公開・活用及びそのための施設に関する計画・・・・・・・・		106
5-9-1	ガイダンス施設		
5-9-2	設備		
第10節	周辺地域の環境保全に関する計画		
	・・・・・・・・		113
第11節	地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画		
	・・・・・・・・		115
第12節	調査等に関する計画		
	・・・・・・・・		118
第13節	公開・活用に関する計画・・・・・・・・		120
5-13-1	整備及び調査の公開		
5-13-2	活用による史跡理解の推進		
第14節	管理・運営に関する計画・・・・・・・・		123
5-14-1	地域と連携した管理運営体制の構築		
5-14-2	専門家による助言指導及び大学等研究機関との連携体制の構築		
5-14-3	文化施設との連携体制の構築		
第15節	事業計画・・・・・・・・		126
5-15-1	事業の方針		
5-15-2	事業の内容		
5-15-3	整備年次計画		